

認定こども園〇〇〇園 月間指導計画 4歳児4月

<p>月初めの園児の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい保育室や担任に不安を感じ、緊張しながらも成長した自分を感じ、新しい環境に積極的に関わり、自分のことは自分でしようとする姿が見られる。 ●進級児は、仲の良い友達を待ったり誘い合ったりしながら、好きな遊びをする姿がある。 ●草花を摘んで、色水遊びやままごとに使ったり、図鑑を見て調べたりする姿がある。 	<p>配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●送迎時に園児の姿を伝えるとともに、家庭での様子を聞いていく。保護者の思いを知り、また、園の思いややっていることを伝え信頼関係を築いていく。 ●保育ドキュメンテーションやポートフォリオ等で、園児の育ちを分かりやすく伝えていくとともに、4歳児の発達の見通しをもってもらい、一緒に子育てを楽しんでいく。 ●園児の不安な気持ちや保育の中での嬉しかったこと悲しかったことなど、気持ちを代弁して伝えていく。 	<p>子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「重要事項説明書」「ご利用にあたって」を用い、園の方針を伝えていく。 ●保育ドキュメンテーションを用い、園児の育ちを伝えていく。 ●送迎時や育児日記等で、園児の様子を伝えると共に、家庭での様子を聞き、連携を図る。 ●相談室での個別の相談にも対応していく。 	<p>園行事及び園事業</p> <p>始まりの日・みんなで集まる日/クラス懇談会/こいのぼり飾り付け/消火・避難・通報訓練/誕生会/園外保育</p>
<p>月のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、安定して生活する中で、自分のことは自分でしようとする。 ●自分の好きな遊びや、興味をもった遊びを楽しむ。 ●友達や保育教諭等と、春の自然に触れて遊ぶ。 			

週	1週	2週	3週	4週
<p>週のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等と関わりながら、生活の仕方や流れを知り、自分でできることは自分でしようとする。 ●保育教諭等や友達と一緒に自分の好きな遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●少しずつ新しい環境に慣れ、生活の仕方や流れがわかる。 ●友達と一緒に春の自然に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境の中で安心して過ごせるようになる。 ●友達と好きな遊びを楽しみ、一緒に体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日の生活リズムを知り、自分たちで生活の場を整えながら自分でできることは積極的にしようとする。 ●友達と一緒にいろいろな表現や製作を楽しむ。
<p>教育時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●園内の探検をしたり、サーキット遊び等新しい遊具を試しながら、自分の好きな遊びを楽しむ。 ●保育教諭等と一緒に持ち物の始末の仕方、場所を覚える。 ●気の合った友達と誘い合って好きな遊びを見つけて楽しむ(固定遊具・三輪車・砂遊び等)。 ●自分が考えたこと、思っていることを保育教諭等や友達に伝える。 ●季節の歌を歌ったり、手遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等や友達と一緒に園外に出掛け、春の草花を探す。 ●保育教諭等や友達と一緒に花に水をやったり、摘んだり集めたりする。 ●色水遊びやままごとなど、草花を使いたいような遊びを知り、やってみようとする。 ●自分が発見したことを保育教諭等や友達に伝えようとする。 ●春の草花を図鑑で調べたり、絵に描いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体育遊びを通して十分に体を動かすことを楽しむ。 ●天気の良い日は戸外に出て、友達と一緒に園庭や公園を探索する。 ●遊具や用具の安全な使い方を知り、遊びを楽しむ。 ●巧技台や感覚統合遊具を使ってサーキット遊びをする。 ●自分が発見したことやできることを保育教諭等や友達に披露し楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな素材を使い、工夫してこいのぼり製作をする。 ●友達と一緒にリズム遊びやリトミックをする。 ●こいのぼりや五月人形を見て、行事の由来を知ったり期待を持つ。 ●交番にこいのぼりの飾りつけに行き、地域との交流を図る。 ●友達とイメージを共有して製作を楽しむ。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■片付ける場所などを園児と一緒に丁寧に確認する。繰り返し行う中で身に付けられるようにする。 ■活動しやすい十分なスペースを用意する。 ★進級した喜びや新しい環境へのとまどいや不安など、一人一人の思いを受け止め、心をつなげていけるようにする。 ★新入園児は保育教諭等が仲立ちしながら、自分で好きな遊びが見つけられるようにしていく。 ★園内のいろいろな場所の安全な使い方や遊び方を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園児が生活の中で春の草花と関わるように育てておくと共に、プランターや鉢植えなど園児の目につきやすいところに置いておく。 ■図鑑を配り、使い方を知らせる。 ★花や虫と触れ合い、観察する楽しさを知ったり、何事にも意欲を持って取り組んだりできるように、導入時に楽しさを伝える。 ★摘んできた草花を並べたり、種類別に分けたりできるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ★園児のがんばりを認め、達成感や自信につなげていく。 ★園児の発見や遊びを認め、一人一人が心を開放して充足感を味わえる時間や場を確保する。 ★園外に出るときは、交通ルールや歩き方など、園児自身が気が付いて注意できるよう声掛けをしていく。 ★まだ不安定さのある園児には、降園時に翌日の園生活に期待がもてるよう話したり、それぞれの不安を受け入れたりしながら、安心して園生活が送れるよう援助していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■リズム遊びやリトミックをする中で、みんなで体を動かす心地よさや楽しさが感じられるようにする。 ■いろいろな素材に関わっていけるように、道具や材料の準備をする。 ■保育室の環境は、園児が見渡せて、物や人が見えやすいように配置を工夫し、園児の要求や遊びの様子に合わせて変えていく。 ★園児が工夫しているところを認め、また友達に伝え合うなどして良さを認め合い、イメージが広がるようにしていく。 ★地域の方に挨拶したり、お礼を言ったりなど感謝の気持ちがもてるようにしていく。
<p>教育時間を除いた時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●戸外で元気よく体を動かし、保育教諭等や友達と楽しんで遊ぶ。 ●新しいクラスや環境に慣れ、ロッカーの使い方などを覚える。 ●園児が落ち着いてから遊びに向かえる居場所を見つける。 ●教育時間で経験した遊具の遊び方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝の挨拶運動で、友達や保護者に元気よく挨拶をする。 ●振り返りの時間を持ち、楽しかったことや発見したことなどを伝え合う。 ●幼稚園新入園児と一緒に触れ合い遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●戸外で元気に体を動かし、体力をつける。 ●ブロックなど、友達と一緒に継続してできる遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児と関わりながら、好きな遊びをする。 ●消火・避難・通報訓練に参加する。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■危険なものは取り除き、安心して遊べるようにする。 ■動きやすいように衣服を調節する。 ★活動に興味を示さない園児には、声掛けをしたり、一緒に体を動かしたりしながら、楽しさを感じさせる。 ★危険がないよう注意して見守り、トラブルがあったときは互いの話を聞き、話し合うよう促す。 ★持つてくるもの等、自分でできたならシールを貼り、自分ですることへの達成感を味わえるようにする。 ★落ち着ける居場所のための環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一日の生活の動線を考え、必要なものを園児たちが安全に使えるように配置する。 ★園児の気持ちに寄り添い、安心して過ごせるようにし、トラブルが起きたときには仲立ち等をししながら、自分たちで解決できるよう配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■安心して遊べるよう、危険なものは取り除く。 ■友達と楽しむための約束事を知らせる。 ★戸外に出る際の衣服調節を知らせる。 ★できたという喜びを味わえるように励ましの言葉掛けを工夫する。 ★運動の後は、水分補給と共に休息を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園児から見やすい位置で見守る。 ■避難経路の安全を確認し、整える。 ★一人一人の様子を見守り、危険のないように声を掛ける。消火・避難・通報訓練の後、振り返りの時間をつくり、自分の身を自分で守るためにはどうしたらいいか考え、次へとつなげていく。 ■園児が興味をもっているものや、季節のものを製作する場を準備する。 ★年長児のしていることを真似したり、年少児に教えてあげるなど、異年齢児との遊びが広がるようにしていく。
<p>教育・保育に対する自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度から異年齢児遊び等で4歳児の保育室を使うことが多かったため、ロッカーや持ち物の片付けも名前を貼ることで、スムーズに使っていた。 ●担任が替わったことで、言いたいことが言えなかったりとまどう園児もいたため、気持ちを受け止めながら一緒に遊ぶなどして、信頼関係を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩の際に草花について興味を誘う言葉掛けをしたことで、同じ花があることに気付いたり、色や形を保育教諭等に伝えたりする姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水やりや毎日プランターを見に行くことで、植物の生態に興味をもてるようになった。 ●環境に慣れると同時に友達とトラブルを起こす園児も出てきたので、しっかり園児の気持ちを受け止め、情緒の安定につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リトミックは、クラスだけでなく異年齢児と一緒にすることで、他児の動きや喜んでいる姿を見て、意欲的に取り組んでいた。 ●一人で製作するよりも、友達と一緒にできたものを見せ合ったので、しっかり園児の気持ちを受け止め、情緒の安定につながってほしい。